

学力・学習状況を踏まえて、基礎学力の向上を図る取組

札幌市立真駒内曙小学校

I 取組の重点

1 テーマ 学力・学習状況を踏まえて、基礎学力の向上を図る取組

2 テーマの意図

(1) 基礎学力の向上

算数の基礎学力の向上

全国学力・学習状況調査の結果、国語に比べ算数の方が全国平均と比較して下回っている項目が多く、算数の学力の底上げが必要である。

① 主として「知識」に関する問題

「量と測定」は上回ったものの、「数と計算」「図形」「数量関係」は下回っている。

② 主として「活用」に関する問題

「数と計算」はほぼ同程度であるが、「量と測定」「図形」「数量関係」は下回っている。

(2) 家庭学習の習慣化の取組で基礎学力を向上

家庭学習習慣化の取組

家庭での学習習慣ができ上がっていないため、絶対的な学習量・時間が不足していることから基礎的学習内容が定着していない児童が多い。

① 「家で学校の宿題をしますか」という質問に対し「必ずする」と答えた割合が全国平均に対し約3割、「どちらかといえばする」を含めた割合でも2割、全国平均を下回っている。

② 1日当たりの勉強時間は、2時間以上という回答は6分の1程度しかいない。

3 本校における全国学力・学習状況調査等の活用の進め方

学校評価への活用

(1) 本校では、学校評価の指標の一つとして、全国学力・学習状況調査の結果を活用した。

その進め方は、

ア 第3節の学校評価において、学力調査結果分析から改善の方向を検討し、関係する担当で具体的な改善策の内容を検討

イ 学校評価説明会において保護者、学校関係者評価委員に説明

ウ 質問紙調査については、児童・保護者の日常の学習意識を向上させる上での参考資料として活用するために、保護者向け啓発資料を作成

エ すぐに取り組める事柄は、3学期から実施

(2) 本校独自の学力調査の結果も活用した。

その結果については

ア 教務において学年ごとの結果と学校全体の改善策をまとめ

イ 具体的な取組を学年ごとにまとめ、1学期の学習参観懇談会において説明

具体的な取組を説明

II 取組の具体化

1 本校における学力・学習状況に関する課題～全国学力・学習状況調査等から

- (1) 「数と計算」領域を中心とした算数の基本的な学力向上の取組
- (2) 国語の「言語事項」領域に課題
- (3) 「宿題を必ずする」割合が低い
- (4) 家庭学習をする子が少ない

2 改善策の具体化

個別指導の推進

(1) 個別指導の機会を増やす

- ① 少人数習熟度別学習を積極的に取り入れる
3年生以上で実施。練習問題を中心に習熟を図る。
- ② 放課後学習「キラキラタイム」を実施
2年生以上で実施。10月から12月までの3か月間で1回30分を10回程度、学年ごとに希望者で実施。
- ③ 朝の15分学習（火曜～木曜）に、1週間単位でTTを実施

学びの習慣化

(2) 毎週漢字テストを実施

- ① 2年生以上で実施。内容や結果を学級便りでお知らせをする。宿題や家庭学習と連動させることで家庭の協力も受け易くなり、指導効果が上がっている。

(3) 宿題の定例化と保護者のかかわり

- ① 1・2年生は毎日国語と算数の宿題プリントを出すとともに、保護者のチェック欄を設け、家庭との連携を図る。
- ② 第2節学校評価（後期学年学級経営交流会）の後、宿題の提出率が低かった学年には、11月から毎日宿題プリントを出し、保護者チェックをしてもらいながら習慣化を図る。

家庭での学びに保護者の関わりを

(4) 保護者に家庭学習を啓発する。

- ① 家庭での学習の指標として「学びのすすめ」を作成し、学校説明会で配付し、保護者の意識と関わりを高めてもらう。内容は
ア 生活習慣の確立
イ 宿題について
ウ 家庭学習の時間的な目安と具体的な取組例

Ⅲ 取組例の実際

5年算数少人数指導

1 5年算数の少人数指導を実施

(1) 単元名 「小数のかけ算とわり算を考えよう」

本単元は、子どもたちが苦手とする内容であり、全国学力・学習状況調査等においても小数の乗除については、課題が指摘されているところである。そこで、本校では、少人数指導の対象として本単元を選ぶこととした。

(2) 実施時期 5月下旬から6月上旬

(3) 実施方法 各学級で指導内容を学習後、習熟度により4コースに分ける

- ① 20点満点の中間テストを実施
- ② 点数及び答えの内容によってコース分けをする

(4) コース分け

- ① Aコース～基本的内容は理解できている。文章問題等発展的内容を学習
Bコース～基本的内容は理解できている。確実な定着を図る学習
Cコース～基本的内容は理解できている。より一層の定着を図る学習
Dコース～基本的内容を理解できるようにする。
- ② A・Bは14名、C・Dは10名程度で同じ教師が指導する。
ア 指導内容は事前に4名の教師が打合せをし、使用する教材についても確認をしている。
イ 指導場所は普通教室以外に、児童会室等の特別教室を使用する。
ウ 学級担任以外の教師も、日常的にTTで教室に入っているため、児童の実態はほぼ把握している。

(5) かけ算5時間、わり算7時間の学習の後、最終テストをする

指導時間は、習熟の度合いから、当初予定していた時数より、それぞれ1時間ずつ増やした。

放課後学習「キラキラタイム」

2 放課後学習「キラキラタイム」を実施

(1) ねらい

- ① 学力向上のために、本年度の人的配置を有効に活用する少人数指導を放課後に行い、一人一人を細かく指導することで、理解・定着が不十分と思われる児童の学習をサポートする。
- ② 当該学年の基礎・基本となる学習を継続することで必要な学びの力（学力）を身に付けられるようにするとともに、学びの習慣化への一助とする。

(2) 内容

- ① 指導者 TT担当教諭、外部人材活用による講師および学級担任
- ② 対象学年 2年～6年
- ③ 実施時期 10～12月、各学年10回程度
- ④ 対象者 希望する児童（名簿等は作成せず、自由参加とし、出席カードを用意する。）
全家庭にお知らせのプリントを配付する。児童用のプリントも作成し、2年生以上の児童に配付し直接説明する。
- ⑤ 実施教科 算数
- ⑥ 実施時間 各学年、週に1回30分程度
ア 2年……月曜もしくは金曜の13:45～14:15（5校時）
イ 3年……水曜の14:45～15:15を中心に可能な日（6校時）
ウ 4～6年…木曜の14:45～15:15を中心に可能な日（クラブが終了した後の6校時）
エ 学級便りの時間割にも実施日を載せ、必要だと思われる児童、家庭には担任からも働きかける。
- ⑦ 実施場所 全学年図書室
複数学年が同時に実施する場合は、図書室内で場所を分けて使用する。



(3) 指導の方法

- ① 学習内容は学年と相談し、1回にプリント2枚と答えを用意する。
- ② 自分でできる子は答え合わせまでをして提出する。
- ③ 教師は、個別指導の必要な児童に対応することを中心とする。
- ④ 終了した児童は出席カードにシールを貼って帰宅する。

IV 研究の成果と課題

1 本校の取組における成果

算数少人数指導

(1) 5年算数「小数のかけ算とわり算を考えよう」の少人数指導

- ① 各学級での指導終了時に中間テストを実施～コース分けのデータとして活用
平均点 かけ算～68.6点、わり算～72点
- ② 少人数指導終了後の最終テスト
平均点 かけ算～90.4点、わり算～79.7点
- ③ 平均点を比較すると、かけ算で約20点、わり算で約5点の上昇が見られることから、指導の効果が上がったと捉えている。特にDコースの児童の平均点が80点となり、向上が著しかった。
- ④ 算数を苦手としている児童の多い学年であるが、少人数指導の後は、「算数が嫌いじゃなくなった」とか「わかるようになって、面白くなってきた」「今度は、上のコースに行けるように頑張ろう」という声が聞かれ、習熟とともに、意欲の向上が見られた。

平均点と意欲

放課後学習「キラキラタイム」

(2) 放課後学習「キラキラタイム」参加数

学年	児童数	参加実数	参加率 (%)	参加累計人数	実施回数	平均参加回数	1回平均参加人数
2	48	37	77.1	232	10	6.3	23.2
3	49	41	83.7	233	9	5.7	25.9
4	51	41	80.4	234	8	5.7	29.3
5	51	46	90.2	181	7	3.9	25.9
6	49	44	89.8	258	8	5.9	32.3
合計	248	209	84.3	1,138	42	4.6	27.1

「キラキラタイム」アンケート結果＜参加して良かった事＞

(人)	2年	3年	4年	5年	6年	合計
楽しく勉強できた	23	16	23	19	14	95
分からないところが分かった	14	23	8	13	15	73
先生に教えてもらえてよかった	6	3	2	4	4	19
友達と一緒に勉強できた	17	6	15	23	13	74
その他	1	0	8	2	2	13

「キラキラタイム」感想

「とても楽しく勉強も進んだし、わからないところはくわしく教えてもらって、苦手な算数が好きになりました。また来年あったら行きたいです。」(3年生)

「私はキラキラタイムに参加してよかったと思います。だって、楽しく勉強できたし、私は算数が苦手だから参加して少しずつ算数が楽しくなってきたのがよかったです。」(4年生)



参加意欲と苦手意識の克服

- ① 対象学年の8割以上の児童が参加し、アンケートや感想からも楽しく学習できたという声が多かったことから、「居残り学習」というようなイメージをもたせずに学習に参加することができたと考えている。
- ② 個別指導によって基本的学習内容の定着が図られた。
- ③ 参加理由は、どの学年も「お家の人に言われたから」が最も多く、保護者の関わりや意識の高まりも感じられた。

(3) 家庭学習の取組

保護者アンケートの結果＜12月実施＞

(%)	20年度	19年度	18年度
いつもしている	30.0	22.1	14.0
だいたいしている	42.4	44.5	47.4
ほとんどしていない	27.6	33.4	38.6

実行率が年々向上してきている。保護者の意識や関わり方が確実に変わってきていることも大きな要因であると考えている。

家庭学習の取組向上

2 本校の取組における今後の課題

(1) 放課後学習「キラキラタイム」

- ① アンケート結果にもあるように、楽しく参加するとともに教師の個別指導が欠かせないので、人的配置が必要である。
- ② 日課表の変更による時間の確保。
- ③ 家庭学習の肩代わりにならないような保護者意識の確立。

(2) 家庭学習の取組

年々向上しているとはいえ、「ほとんどしていない」児童が四分の一以上いる。更に実行率を上げていきたい。

学びのすすめ～家庭での学習～

学力への関心が高まり、本校でも家庭学習への取り組みを全校的に行ってきています。しかし、昨年度の保護者アンケートでは、「家庭学習」の項目は全体の3分の1がC評価という結果でした。「家庭学習」に対する意識の高まりとともに、今後のさらなる取り組みの必要性を感じています。昨年度も同様をお願いをしましたが、今年度も日常の家庭学習での学習についてお願いをしたいと思います。

学びの習慣を

○毎日、決まった時間に机に向かう習慣を＜早寝、早起き、朝ごはん＞から

- ・食事、就寝等の生活リズムを確立する中に学びの時間を位置付けましょう。
- ・子どもだけではなく、家族全体の生活リズムや学びの雰囲気をつくるのが大切です。
- ・「机に向かう」とは教科書やノートを開いて学ぶだけではありません。読書等も含めて、まず、机に向かう習慣を。

家庭学習

○家庭学習は、ご家庭の教育方針のもと、その子にあった方法を工夫し、ご家庭の指導で実行していくものです。習慣化をめざすことで、学習することの楽しさを体感したり、学習することの意味も実感できたりします。

- ① 学校では、学年の発達段階や学級の実態に応じて、家庭学習の内容や方法など大まかに方向性を指導し、家庭学習を促します。
- ② 一人一人のお子さんにつきましては、具体的には、家庭の方針や責任のもと、その子にあった内容や方法で行われることを基本としています。また、是非目を通していただき、○付けや励ましをお願いします。
- ③ 学校として期待したい時間的な目安

毎日の学習時間	1・2年	…20～45分程度
	3・4年	…30～60分程度
	5・6年	…45～90分程度

宿題について

○日常の学習状況や子どもの興味関心を考慮し、家庭学習を習慣化させる手立てとしても考えております。

- ・宿題を出す頻度や量については、学年の発達に応じた目安をもって取り組んでいます。
- ・家庭学習と違い、全員が提出し担任が確認します。

声かけ、目配り、心配りで自主的な学習の習慣化を

平成26年9月12日

『キラキラタイム』<放課後学習>について

こんど、夏休みのみなさんで「キラキラタイム」という放課後学習をすることになりました。この「キラキラタイム」でどんなことをするのかお知らせします。

「キラキラタイム」ってなに？

それはね、放課後に図書室で学習する時間のことです。

みんな、必ず参加するんですか？

いいえ、自由参加です。参加するかどうかは担任の先生やお家の人と相談してください。

曜日あるんですか？

1週間に1回です。木曜日の6時間目（クラブの後）を中心にします。

1週間1回って、木曜日の6時間目（クラブの後）を中心にします。

「キラキラタイム」のある日は、半休日よりや学級日よりで決めてください。

用事をもって参加できない日があってもかまいません。

どんな学習をするんのですか？

算数です。わからないところをなぐすための学習をする時間です。

プリントを用意しているの、自分で答え合わせをして先生に出して欲しい、わからないところがあったらどなたか聞いてください。

キラキラタイム		学習予定		
		4年	5年	6年
10	2 木	① 小数	① 小数のかけ算	① 倍数と約数
	7 火			
	9 木	② 小数	② 小数のわり算	② 倍数と約数
11	16 木	③ 小数		③ 分数のたし算ひき算
	23 木	④ わり算の筆算	③ 小数のわり算	④ 分数のたし算ひき算
	31 金	⑤ わり算の筆算	④ 分数のたし算とひき算	⑤ 分数のかけ算とわり算
12	21 金	⑥ 分数	⑤ 小数のかけ算	⑥ 分数のかけ算とわり算
	27 木	⑦ 分数	⑥ 小数のかけ算	⑦ 分数のかけ算とわり算
	11 木	⑧ わり算の筆算	⑦ 小数のわり算	⑧ 分数のかけ算とわり算
	16 火	⑨ わり算の筆算		
	17 水		⑧ 小数のわり算	
	18 木			⑨ 分数のかけ算とわり算